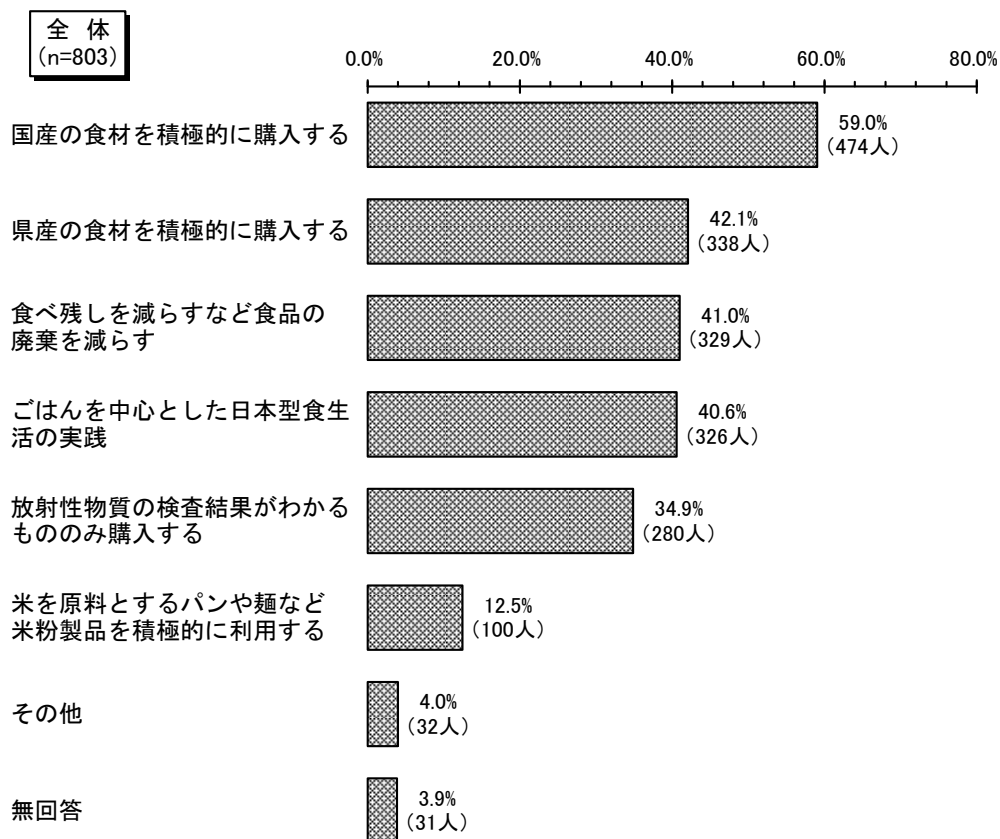


4. 農林水産業について

(1) 農林水産物の購入や食生活で実践または実践したいこと

問12 震災後、あなたが農林水産物の購入や食生活において、以下の行動のうち実践しているまたは実践したいと考えていることはありますか。

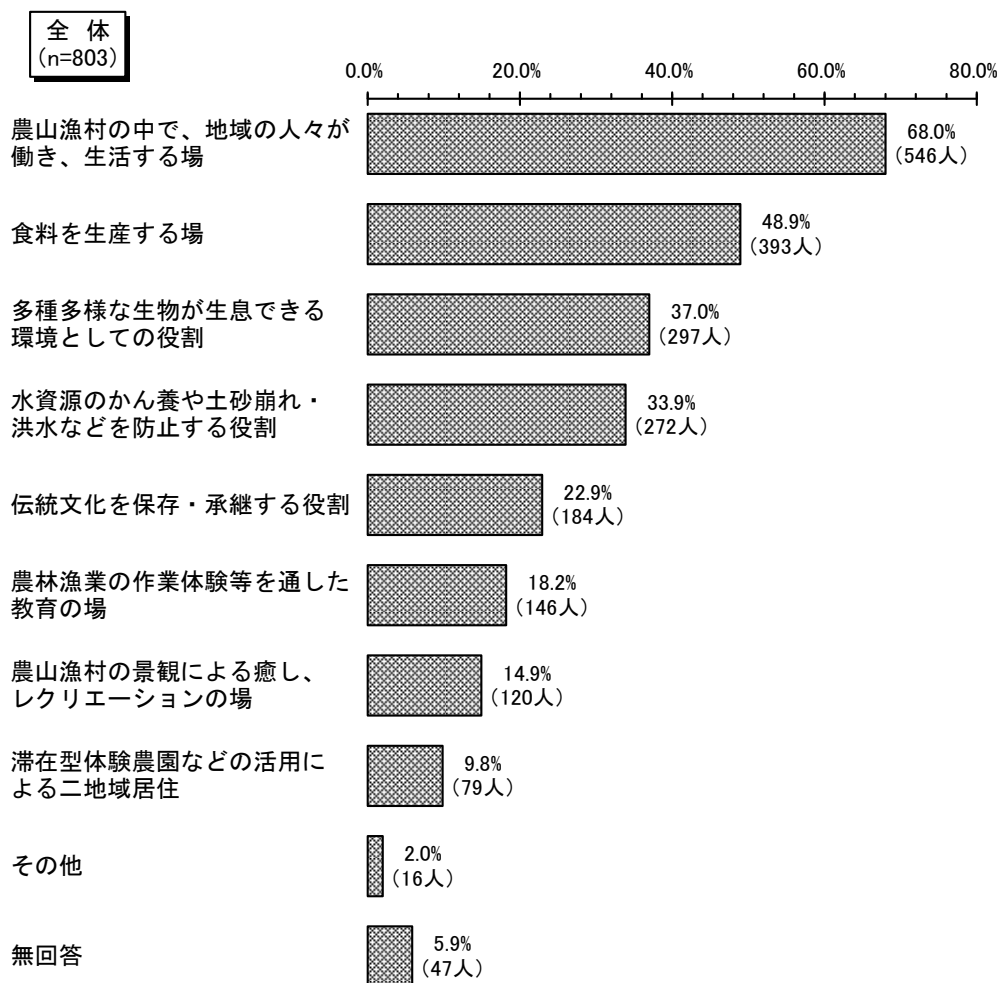
あてはまるものにもいくつでも○をつけてください。



震災後、農林水産物の購入や食生活で実践または実践したいことは、「国産の食材を積極的に購入する」(59.0%)と回答した人が最も多く、6割弱となっている。以下、「県産の食材を積極的に購入する」(42.1%)、「食べ残しを減らすなど食品の廃棄を減らす」(41.0%)、「ごはんを中心とした日本型食生活の実践」(40.6%)が4割台、「放射線物質の検査結果がわかるもののみ購入する」(34.9%)が3割台、「米を原料とするパンや麺など米粉製品を積極的に利用する」(12.5%)が1割台となっている。

(2) 農山漁村に期待すること

問13 あなたが本県の農山漁村の役割として期待することは何ですか。
あてはまるものにもいくつかでも○をつけてください。



農山漁村の役割として期待することは、「農産漁村の中で、地域の人々が働き、生活する場」(68.0%)が最も多く、7割弱となっている。次いで、「食料を生産する場」(48.9%)が5割弱で続き、以下、「多種多様な生物が生息できる環境としての役割」(37.0%)と「水資源のかん養や土砂崩れ・洪水などを防止する役割」(33.9%)が3割台、「伝統文化を保存・承継する役割」(22.9%)が2割台、「農林漁業の作業体験等を通じた教育の場」(18.2%)と「農山漁村の景観による癒し、レクリエーションの場」(14.9%)が1割台、「滞在型体験農園などの活用による二地域居住」(9.8%)が1割弱となっている。